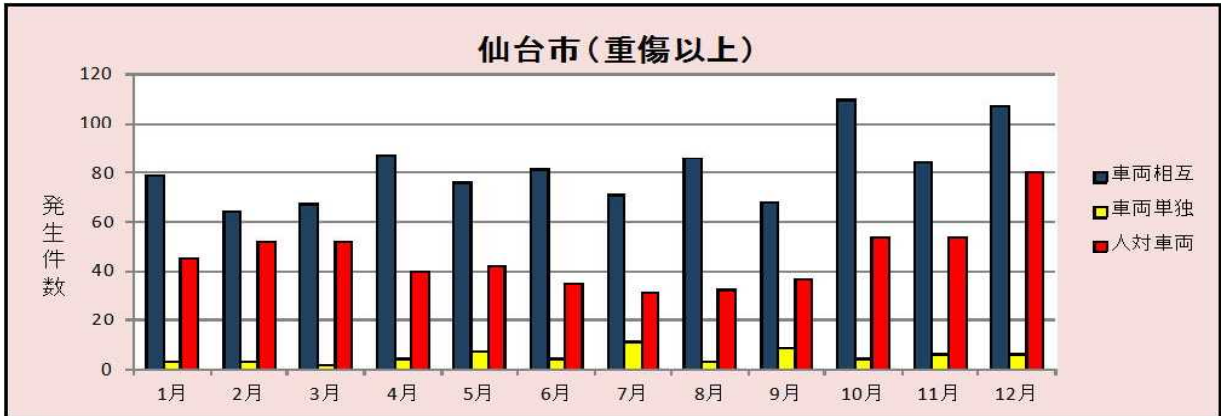


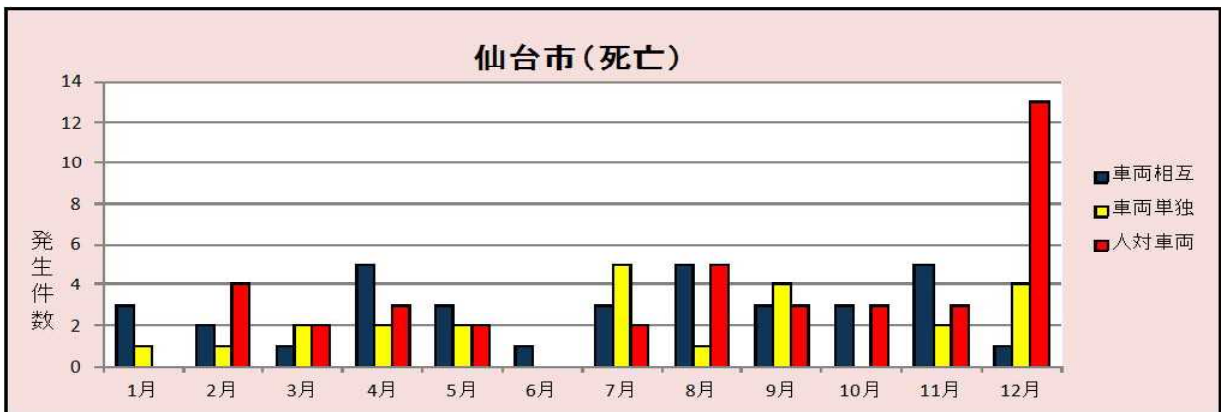
仙台市における年末の交通事故分析（過去5年）

1 月別発生状況



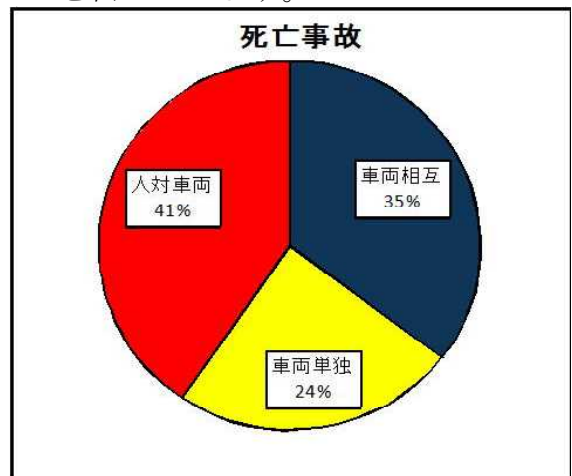
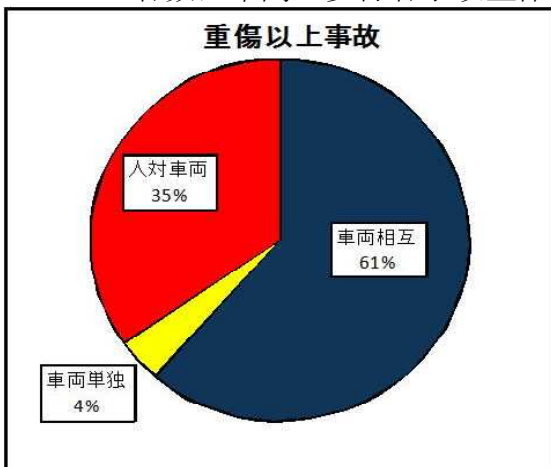
○ 歩行者事故が10月以降年末にかけて右肩上がりに増加し、12月に年間のピークを迎えます。

車両相互事故も10月以降年末にかけて最も発生件数が多くなります。



○ 死亡事故は、12月に激増し、年間のピークを迎えます。

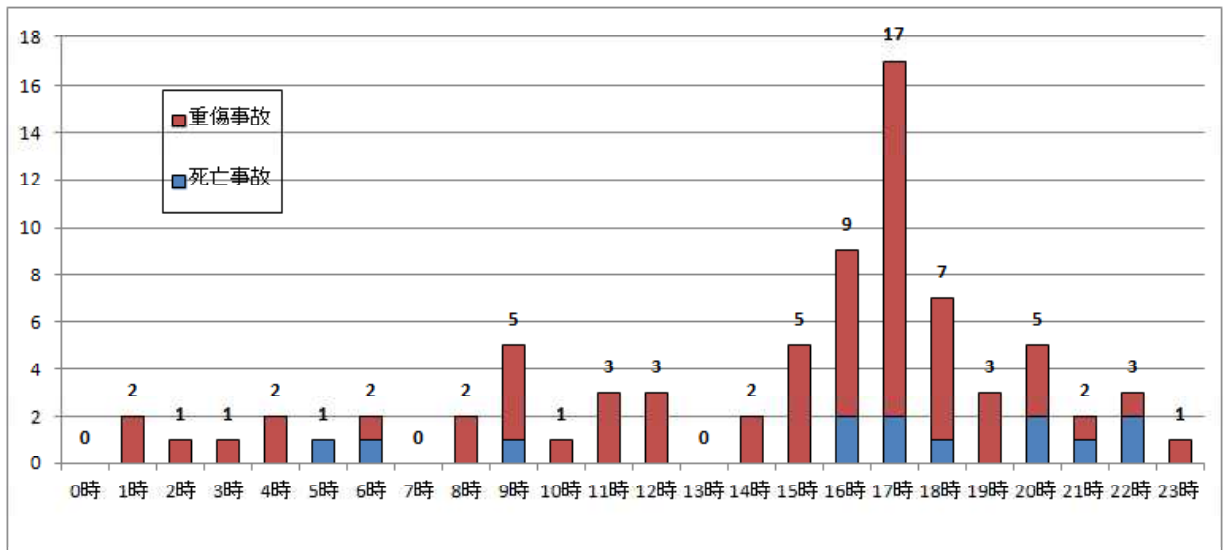
これは歩行者事故の死者が著しく増加するのが原因で、12月中の歩行者事故の死者数は年間の歩行者事故全体の3分の1を占めています。



○ 重傷事故以上の内訳は、車両相互事故が6割以上を占めていますが、死亡事故に限定すると歩行者事故が4割以上を占め、その割合が大きく変化します。

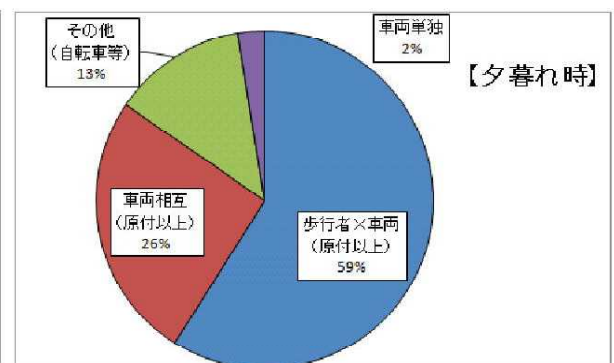
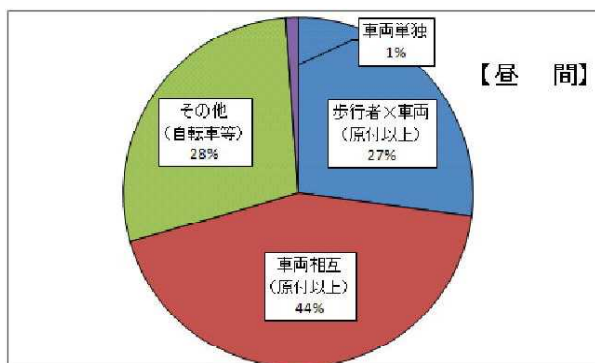
2 歩行者事故（12月中、重傷以上）

(1) 時間別発生状況

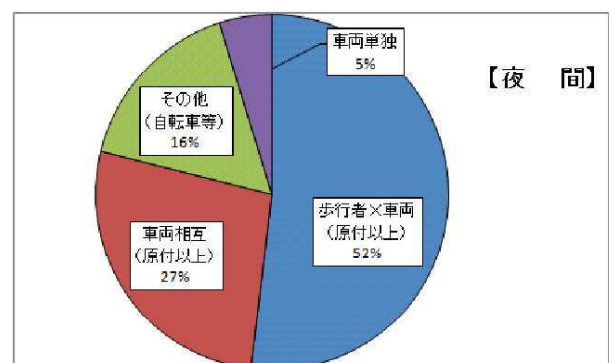


○ 午後4時から午後6時にかけての発生が全体の約4割を占め、夕暮れ時に多発する傾向が顕著です。

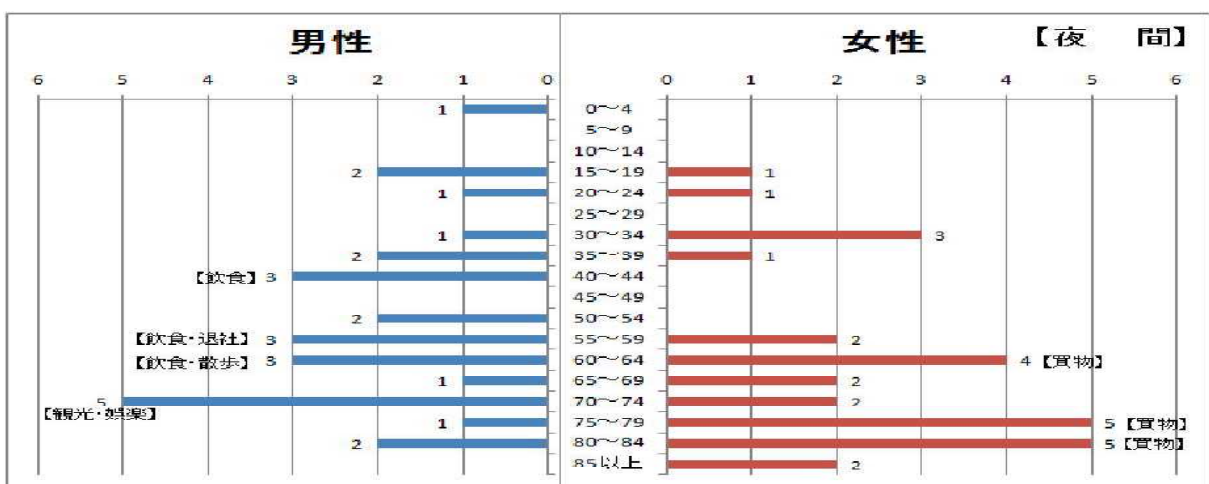
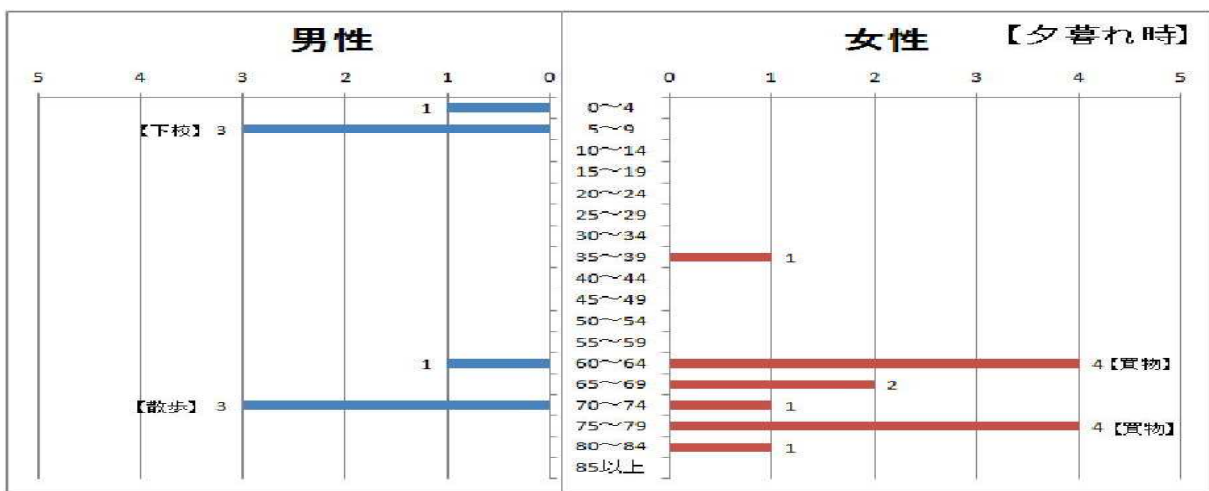
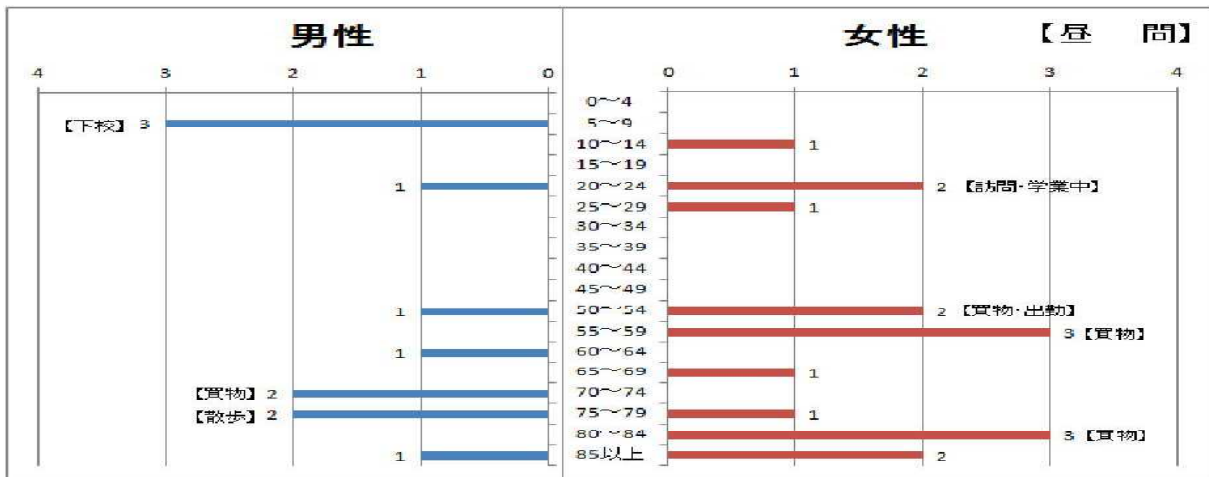
(2) 形態別発生状況



○ 夕暮れ時と夜間は、歩行者事故の発生が半数以上を占め、昼間と比べ約2倍に増加します。



(3) 性別・年齢別発生状況

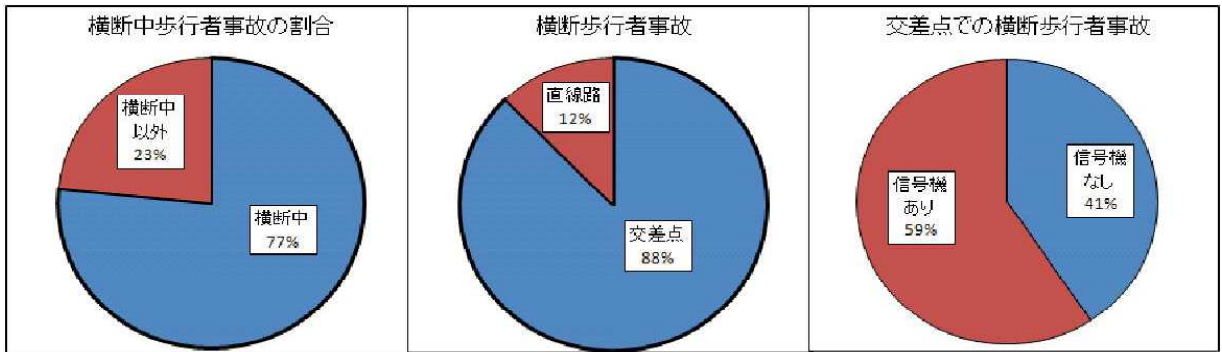


○ 全体として高齢者が占める割合が高く、周囲が暗くなるにつれてその傾向が顕著になります。

特に60歳以上の女性が昼夜を通じて最も多く、その通行目的は買い物が大半を占めています。

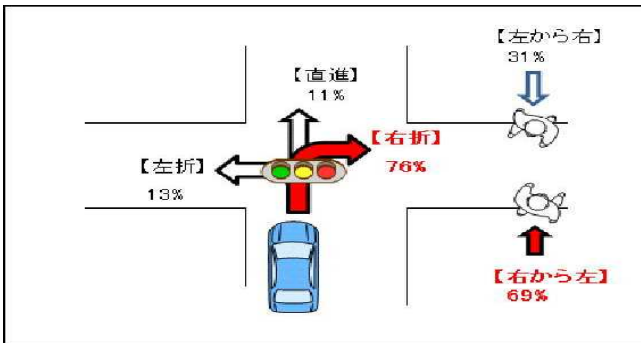
昼間から夕暮れ時にかけては、10歳未満の男児が多いことも特徴的です。

(4) 夕暮れ時における歩行者事故の特徴（12月中、全人身事故）



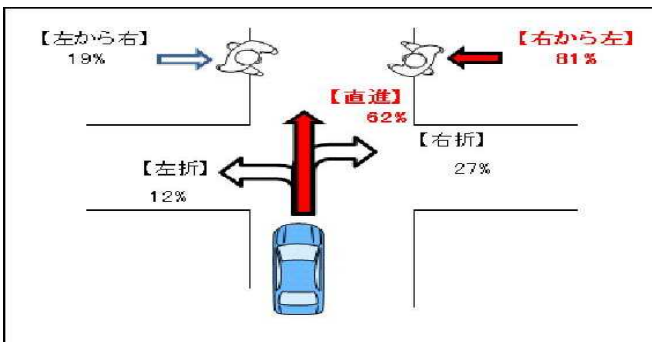
○ 歩行者事故の大半（約8割）が横断中に発生しています。横断中事故のほとんどが交差点での発生で、その半数以上（約6割）が信号のある交差点で発生しています。

【信号あり】



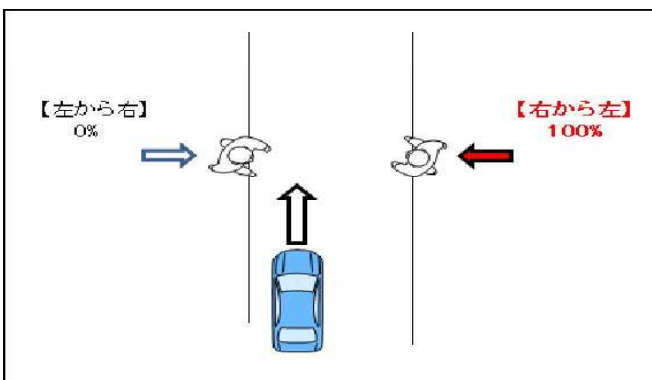
○ 右折時の事故が7割を越え、運転者から見て右から横断する歩行者の事故が約7割を占めています。

【信号なし】



○ 直進時の事故が6割を越え、運転者から見て右から横断する歩行者の事故が約8割を占めています。

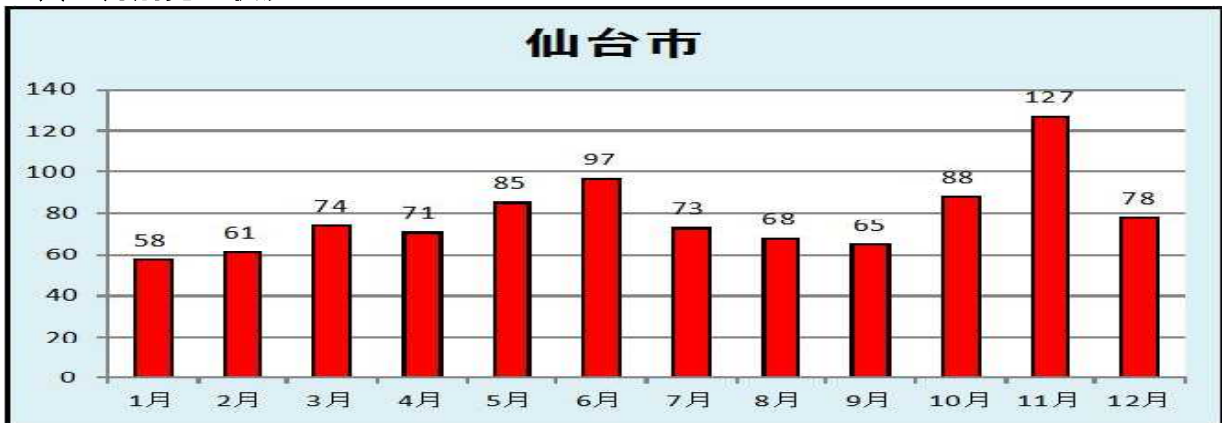
【直線道路】



○ 運転者から見て右から横断する歩行者の事故が全てを占めるという偏向した傾向があります。

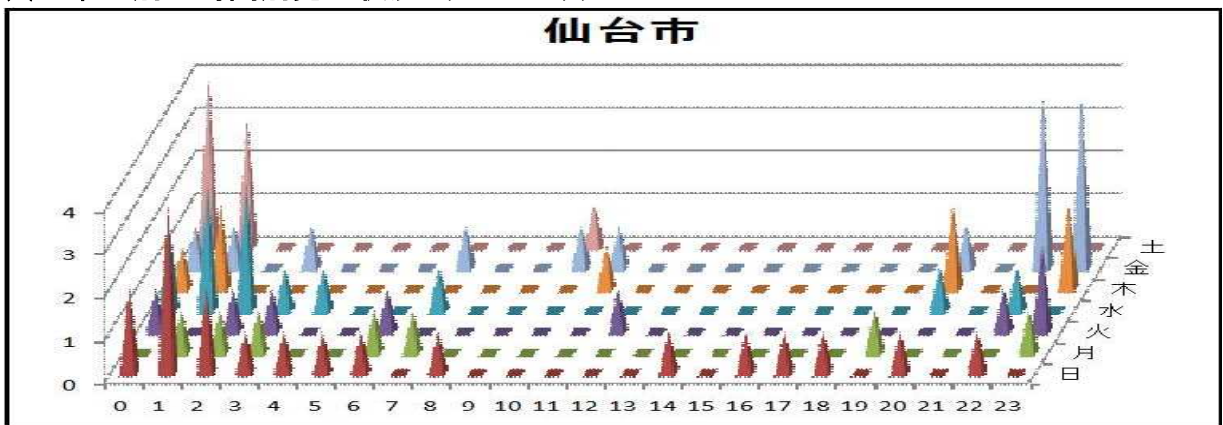
3 飲酒運転事故・違反発生状況（過去5年）

(1) 月別発生状況



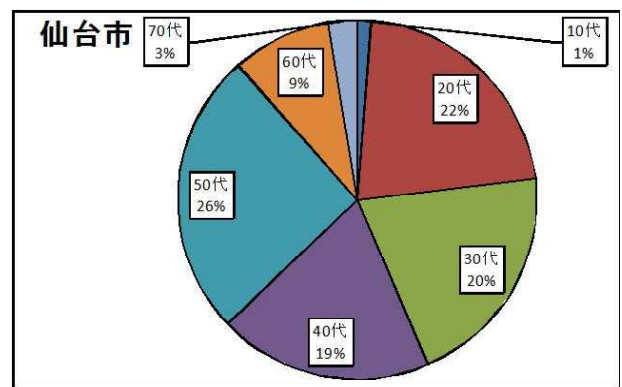
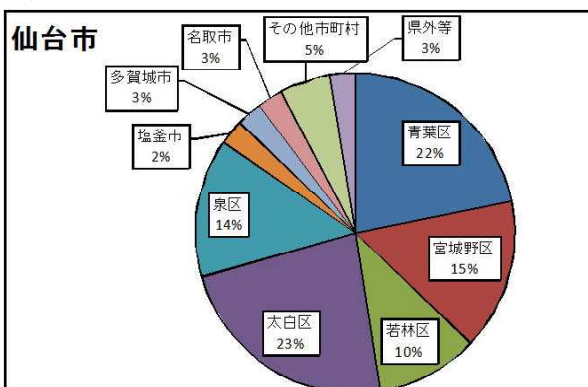
○ 10月以降の発生は高水準で、11月にピークを迎えます。

(2) 曜日別・時間別発生状況（12月中）



○ 金曜日深夜から土曜日未明にかけての発生が最も多く、日曜日と水曜日の未明も高水準となっています。

(3) 居住地別・年代別（12月中）



○ 居住地別では、青葉区と太白区の住民が約半数を占め、年代別では20～50代まで、年代によるムラなく多いのが特徴的で、高齢になると割合が少なくなる特徴があります。

また、近年20代の比率が高くなっている傾向にあります。